

伯耆町総合教育会議 会議録(この会議録は発言を要約したものである。)

召 集 年 月 日	平成 27 年 5 月 18 日 (月)		
召 集 場 所	伯耆町役場 応接室		
開 会 時 間	午後 1 時 25 分		
出席者	町長:森安保 教育委員長:伊藤浩 教育委員:仲倉玄雄・田中榮美子・大木寿之 教育長:後藤弥		
事務局等 出席職員	総務課:斉下課長、安藤主任 教育委員会事務局:松原教育次長	会議録作成 職 員	総務課主任 安藤 竜一
提 出 議 案 等	○開会 ○町長あいさつ ○教育委員長あいさつ 1 報告 (1)伯耆町総合教育会議の運営方針について 2 議題 (1)伯耆町教育振興基本計画を伯耆町教育大綱にすることについて (2)教育委員会の平成 27 年度重点事業について (3)町長部局と教育委員会部局との平成 27 年度連携事業について 4 その他 ○閉会		
閉 会 時 間	午後 2 時 55 分		

会 議 の 顛 末

斉下課長	時間はやや早いですが第 1 回総合教育会議を開催します。司会進行は、斉下が務めさせていただきます。 町長あいさつ。
森安町長	他団体などでは私たちには分からないような軋轢などもあるかと思うが、そのような状況が子どもたちにとってどうなのだろうかと考えさせられる制度変更ではある。本町の場合は、教育現場で実績が上がってきて、町の評価にも繋がったのでは。去年 1 年間では、人口増ということにもなっている。子供たちの可能性を伸ばせるよう、サポートをしっかりとできるように、力を合わせてやっていきたいと思います。

齊下課長	教育委員長あいさつ。
伊藤委員長	総合教育会議というものが設置されたわけですが、これまでやってきたものを踏襲して、うちの町は行えるのではないかと。これからも御協力をよろしくお願いします。
齊下課長	本会議の運営について、事務レベルで打合せを行った内容を報告します。 (次第 1 報告「伯耆町総合教育会議の運営方針について」を資料に基づき報告した。) 報告内容について、質問等がありますか。 (質問等がないことを確認した。) 議題 1「伯耆町教育振興基本計画を伯耆町教育大綱にすることについて」の説明をお願いします。
後藤教育長	昨年 11 月の意見交換会の折に、現在の教育振興基本計画をもって、教育大綱とするという協議をさせていただいているので、今回の会議で、承認していただきたいと思っています。 (議題 1「伯耆町教育振興基本計画を伯耆町教育大綱にすることについて」を資料に基づき説明した。)
齊下課長	意見等がありますか。
森安町長	大綱とするのに、どういうことが必要なのですか？
齊下課長	国の教育振興基本計画に沿ったものであることが求められています。国計画には 8 つの成果目標が設定されていて、本町に関係のないものは除きますが、その内容が伯耆町教育振興基本計画に盛り込まれているのであれば、大綱として認めるというのが文科省の見解です。 (国計画のパンフレット中、成果目標について読みあげた。)
後藤教育長	課題なのは、貧困の問題などが絡んでくる問題ですが、例えば、今年度から実施する放課後子ども教室であるとか、あるいは、中学生対象の伯耆未来塾などがこういう問題にあたってくると思います。(国の教育振興基本計画とも) さほど大きな相違はないと思います。
齊下課長	自分が担当で教育振興基本計画を作ったので補足説明しますが、伯耆町の基本計画を作成する際には、既に国の計画が既にできており、その計画を参酌して作った計画です。
森安町長	これでいいと思いますが。
伊藤委員長	いいと思いますが、一つ心配なのは、保育園の保護者の教育というか、保護者の保育士さんに対するクレームなどは、困っている状況はないですか。

森安町長	深刻化するような事態はありません。トラブルは、しょっちゅうだが、保育所の保護者の方の問題事案を保育所のときに解決するというのは難しいと思います。
仲倉委員	就学前教育の環境整備の面からも（保護者の教育は）必要では。
伊藤委員長	保育士が、出勤できないような状況はないですか。
森安町長	精神的要因での休暇などはありません。保育士も毎年1人ずつ増やしているし、そういうこともあると思います。学校から保育所に出てきてもらっているの、あれが効いているのでは。
後藤教育長	今年も、岸本小学校からふたば保育所に行って、保育所の状況や保護者との懇談を現場で研修していただいています。家庭教育の支援という観点で、保育士、福祉課、健康対策課、教育員会等関係者が支援チームを作って、連絡会や事例検討など行っており、そういうことを続けるのが大事ではないでしょうか。
森安町長	学習的な要素を年長児の前くらいから、教育委員会のサポートで入れているので、小学校就学のときにそれほどおかしいことにはならないというイメージができています。クレームなど言っても自分達の利益にならないという状況が少しずつできているのではないかと思います。
仲倉委員	健やかに育つのが当たり前だが、県内でも保護者が問題となったニュースなどがあるので、そういうことになってからでは遅いと思います。
森安町長	保育所でも、虐待の予兆などがあれば、通告をおそれないでやります。保護者を説得するなどはしません。児童相談所に相談して法的措置をとらなければ。保護者に時間を与えて不利益になるということもありますので。
伊藤委員長	今の児童相談所はどのような状況ですか。
後藤教育長	小学校でも児童相談所に入ってもらい、解決に向かっている事案もあります。
森安町長	専門家が育ってきたってこともあるのかもしれないですね。こういうことはスタッフ次第。以前と比べると充実してきているのではないのでしょうか。
大木委員	南部町に子ども園が開園しましたが、福祉と教育というどうしても隔たりがある中、そういった子ども園を展開していくことはありますか。

森安町長	認定子ども園の方が、負担が安いです。しかし、第3子無料化や短時間保育を今年からスタートしているので安くなっており、幼稚園じゃなくても経費が変わらないように思います。保育所機能と幼稚園機能をセットしたところで、今以上の教育ができるかは分からない。経費的な部分で言えば、安くなります。状況も変わってきました。
大木委員	20年くらい前だと、保育料がすごい高くて幼稚園の方が安かったが。
森安町長	今年から特に短時間保育ができたので下がりました。
大木委員	昔は、おじいちゃん、おばあちゃんがいないと行かせれないという状況もありましたが。
森安町長	今は、短時間保育の利用者が増えていて、時間きっちり。認定こども園のニーズが伯耆町では下がっているのかもしれませんが。今年から第2子もワンランク軽減を上げているし。2年くらい様子を見てニーズ調査もしないといけない。
田中委員	小学校に入学する子どもがすごくギャップがあり、学級崩壊があったという事例を聞きました。幼稚園と違って、保育園は学習的な面が少ないので、子どもの心が傷つくのではないのでしょうか。
後藤教育長	市では、10以上の幼稚園、保育所から行くいことになって、上がる前のレベル、教育環境の違いなどで対応が難しくなるということがあります。伯耆町は、9割以上の子どもが同じ環境から入ってくる。年長の子どもたちに対するプログラムなどを丁寧に行って、ギャップなどを解消するという町のやり方が機能しているのではないのでしょうか。
森安町長	保育所から、こういうお子さんですよというのが引き継げる環境や、少数化しているというものもある。都市部では厳しいところもあるのでしょうか。 いいところは、維持していくということで、この基本計画を大綱としてするという具合にさせていただきたい。 (「はい。」という声あり。)
斉下課長	次に、議題2「教育委員会の平成27年度重点事業について」の説明をお願いします。
後藤教育長	(議題2「教育委員会の平成27年度重点事業について」を資料に基づき説明した。)
斉下課長	ご意見等がありますか。
伊藤委員長	「地域芸術文化の振興」で、矢田貝邸の当主が、以前、ミニチュアコンサートなどやっていただいて盛り上げていただきたいたいと書いておられました。文化財の指定だけでなく、何か町として計画はありますか。

後藤教育長	いろいろやり方があると思いますが、民間・個人の施設を使うという話になると、行政から仕組んでいくというのは、難しいと思います。
伊藤委員長	せっかくいいものがあるのにとは常々思っていますが。
森安町長	楽しむというところに公費を出すのがどうかという話だと思っています。文化財は、所有者申請というのもあります。公共施設ということであればプラスアルファしてやるということはあるんですが。
伊藤委員長	補助金とかもないんですか。
森安町長	個人所有物ですからね。いわゆる修復にはでるんですが、それ以外はちょっとでないですね。
後藤教育長	今、鬼の館で定期的に有志の方が中心となってコンサートをしておられるが、ああいう使い方があるのかなと思います。自分達で機材を持ち寄ってやっておられます。教育委員会では、広報等でPRもしていますので。
森安町長	ほかの事業はどうですか。図書館事業は頑張ってもらって、貸出も増えていますし、来られる方の幅も広がってきたなと思っています。
仲倉委員	学校図書館も司書を置いてもらって。子どもは何もしないではきませんからね。
田中委員	図書通信は各戸に配布されているものですか？
森安町長	町報だけでも年に3回はあったのでは。
後藤教育長	それ以外にケーブルテレビを活用してPRを図っておられますね。
大木委員	日光小学校が学校統合になりますが、今後の利用はどうされますか？
森安町長	今後の利用については、教育委員会での検討となりますが、公民館としての利用というのを思っている人が多いと思います。
森安町長	放課後児童クラブについて、放課後子ども教室という制度もあるので、そういう意味では、放課後児童クラブの評価の年となりますね。
大木委員	町長も、開会のあいさつで言われたように人口増となっているので、子ども教室や放課後児童クラブの充実が課題だと思う。
森安町長	4年生で放課後児童クラブを卒業するシステムづくりが必要だと思います。夏休みになると放課後児童クラブに戻ってしまうというがあるので、そのあたりをどうにかしないといけない。
仲倉委員	いい策があるといいが、昔にみたいに、子どもの数が多くて友達と帰って遊ぶということも少なくなってきたし。夏休みの図書館解放などは。

後藤教育長	現状は、やっていないので、そのあたりを検討しないといけない。
森安町長	いよいよになれば、学校図書館に漫画とかを置くのも一つの手かもしれない。もちろん教育的な、歴史を学ぶようなものとかですけど。
田中委員	読谷村教育交流事業の対象はどこまでですか。
後藤教育長	小学生と高校生のボランティアが対象です。
齊下課長	(そのほかに意見等が無いことを確認した。) (次に議題 3「町長部局と教育委員会部局との平成 27 年度連携事業について」の説明をお願いした。)
後藤教育長	(議題 3「町長部局と教育委員会部局との平成 27 年度連携事業について」を資料に基づき説明した。)
大木委員	小学校低学年は、ボランティアに保護者が加わったほうがいいと思います。
田中委員	放課後児童クラブとの違いはどのようなところにあるのでしょうか。
後藤教育長	放課後児童クラブは、見守り的な性格の強いものであるので、学習的な性格をもっている子ども教室とはその点で違いがあります。県内では、放課後児童クラブか放課後子ども教室のどちらかを実施するというのはあるが、両方実施するのは県内唯一。
仲倉委員	対象が全学年となっているので、スタッフの確保が難しいのではないかと。また岸本は、場所の確保も難しいと思う。
後藤教育長	スタッフは、児童クラブの指導員なども呼んで対応したい。
齊下課長	(そのほかに意見等が無いことを確認した。) (次に「その他」の案件がないことを確認した。) 以上で閉会します。